

## 道路の舗装・カーブミラーや街灯の設置・交差点の渋滞対策など 土木センターへ要望・交渉を行いました

10月13日、市民の方々から寄せられた、道路・河川・公園などに関する要望について、各土木センターと交渉を行いました。今後の対応についての回答があったほか、事前に要望項目を伝えていたものについては、すでに改善が図られた箇所なども確認できました。



交渉には、歩道の設置、段差の解消、カーブミラーの設置など、住民の安全を守る立場から、多岐にわたる要望が持ち寄られました。土木センターの職員も、早急に現地を確認したうえで、対応策や課題を説明。改善の方向性が示された箇所も多くありました。

迅速に対応いただいた職員の方々  
に感謝を述べる場面もありました。

また、日常生活のなかで気付いた改善が必要な箇所など、携帯電話やスマホなどで写真を撮り、すぐに土木センターにつなげるような仕組みを作ってほしいとの要望も出されました。

## 生活に密着した公共事業の予算拡充を！

道路の舗装や河川改修などの要望に対しては、予算確保が難しく、優先順位を見極め実施していくとの回答もありました。共産党としても議会の中で指摘をしてきたことですが、中心市街地再開発に数百億という投資を行うお金があるのなら、まずは市民生活に密着した公共事業に十分な予算措置を行うべきです。

日本共産党 市議会だより

発行：日本共産党熊本市議団  
上野みえこ なすまどか 山部ひろし  
熊本市中央区手取本町1-1 3階

NO. 968  
2015年10月18日  
電話 328-2656  
FAX 359-5047

メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp  
HP：http://www.jcp-kumamoto.com/

## 来年度の予算要望を行います～ぜひご参加ください

様々な市民団体で構成する「平和と民主主義・くらしを守る熊本市民連絡会」は、下記の日時において、熊本市に対して、来年度の予算交渉を行います。

熊本市では、秋から冬にかけて、来年度の予算を組み立てる作業を行います。今回の要請では、くらし、医療、福祉、教育、平和などについて、現行制度の充実や新設など、市民生活を守り、豊かにするための項目を提出し交渉を行う予定です。どなたでもご参加できます。

**とき** 11月4日(水) 午前10時～  
午前10時～教育・環境・都市建設関係など 午後1時～福祉関係

**ところ** 市議会予算決算委員会室（議会棟2階）

主催：平和と民主主義・くらしを守る熊本市民連絡会  
連絡先 090-8667-3148（事務局 森）

（控室から）  
スポーツ振興にもっと力を  
なすまどか

市議会の野球部に入学して9年目になります。今月末の試合に向け、練習に参加しました。日頃の運動不足がたたり、屈伸をしただけで頭の上に星がちらつき、少々落ち込みましたが、それでも、秋空の下、体を動かすことの心地よさを改めて感じたものです。

球場の中では、当然のごとく会派はありません。ひいひい言いながら保守議員であろうと、革新議員であろうとボールをおいかけます。ときに、若手議員がベテラン議員に向かってヤジを飛ばしたり、素晴らしいプレーをみんなで称えたりと、楽しい時間をおくることができました。改めてスポーツの大切さを実感しました。

10月の発足したスポーツ庁。現在のスポーツをめぐる状況は、スポーツ施設も指導者の体制も不十分であり、公共スポーツ施設の総数は、2008年までの12年間で1万1796カ所も減っています。

スポーツは国民の権利です。施設面のみならず、全ての国民が日常からスポーツに親しめるようスポーツ環境の整備が求められています。



# 大型ハコモノ/建設は中止して、暮らし・福祉優先の市政を！

9月議会には、2014年度決算が報告されました。日本共産党は、予算決算委員会・分科会で問題点を指摘、最終日・本会議で、上野みえこ議員が反対討論を行いました。

## 市政史上最大のハコモノ・MICE 施設整備 450 億円を推進

### 莫大な税金投入と市の支援によって成り立っている再開発

2014 年度、「MICE 施設」が整備される桜町再開発には、基本設計・資金計画・測量事業に 2 億 95 万円が助成されました。

桜町再開発は、民間（九州産交・HIS）事業でありながら、総事業費

### 問題と思われる不透明な契約

「基本設計・実施設計等業務委託」の公募プロポーザルでは、1 社の応募で競争性のない契約でした。他も、予定価格・落札額・応札者など入札情報すら公開されておらず、不透明で公正な契約とは言えない状況です。

約 700 億円の 6 割以上 434 億円を税金で負担します。再開発会社の運転資金となる借入金 122 億円の約半分も熊本市が無利子で調達（利子は市が負担）、事業費から運転資金まで市が面倒を見る事業です。

### 入居テナントも決まらない

昨年秋に商業スペースの入居者を決めるコンサル業者が決まりましたが、再開発事業成立の鍵となる商業スペースの入居テナントはほとんど決まっています。

## 市民反対の中、桜町の賑わい拠点・産業文化会館を解体！

年間 30 万人が利用していた産業文化会館が解体されました。しかし、裁判では、議会に出された根拠資料に疑義も出されており、廃止解体に合理的理由があったのか、議会が適切な判断を下せる状況にあったのか、市の強硬なやり方が問われます。産文跡地の花畑広場も、今後賑わいの拠点になっていくのか心配されます。11 億円も使われる産文隣接地買収は、民間ビル 2 棟のうち、1 棟は未だに立ち退きも行われていません。

## 身近な住民サービス切り捨て、要求後回し

### 政令市で 2 番目に高い国保料

国民健康保険会計への赤字補てん分一般会計繰入れが減額され、累積赤字は、20 億円に増えました。2013 年度まで政令市で 3 番目に高かった保険料は、2014 年度、政令市で 2 番目に高い保険料となりました。

### 各種福祉サービス充実も必要

受診率が低下しているがん検診の早期無料化実施、敬老祝品の祝金への変更・拡充、福祉タクシーなど障がい者の移動支援の拡充、国保の鍼灸マッサージへの助成回数増など、ムダづかいの陰で犠牲になっている各種社会保障制度の拡充も急がれる課題です。

### サービス低下を招く民間委託推進

昨年度新たに、公立保育園・1 園が民営化、動物愛護センター業務の一部・浄書業務・森都心プラザの市民サービスコーナーなど、民間委託が広がりました。不安定雇用を増し、仕事のノウハウが積み重ならないなど、住民サービス低下を招く民間委託が推進されました。



### 身近な公共施設の

### 建設・維持管理・補修は後回し

#### ●小中学校等の修繕・維持管理

維持補修予算が査定により減額され、現場からの要求に応えられず、毎年同じ要求が繰り返されています。

#### ●身近な生活道路の整備

政令市移行で莫大な費用のかかる国県道管理が市の仕事になり、身近な生活道路の整備費用確保が難しく、昨年度は市民の相談・要望に 78%にしか対応できませんでした。高規格道整備より、身近な生活道路の整備に予算を確保すべきです。

#### ●コミュニティーセンターの修繕

3分の2が建設から 10 年以上経ち、修繕要求が増えていますが、修繕費が足りず、簡易な修繕ですら数か月待ちです。

#### ●市営住宅

未修繕の空き家は年々増え、昨年度 500 戸以上になりました。畳替え・水回り・外壁なども、必要な修繕に予算が追いついていません。